

水と油と高分子を駆使する科学のスペシャリスト

第47期決算説明会資料

(平成17年2月期)

M O R E S C O

(登記社名: 株式会社松村石油研究所)

Matsumura Oil Research Corp

<http://www.moresco.co.jp/>

JASDAQ 5018

2005年4月20日

業績予想に関する注意事項

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな要因により予測数値と異なる結果となる可能性があります。

この資料の著作権は MORESCO (株)松村石油研究所に帰属します。
いかなる理由によっても、当社に許可なく資料を複製・配布することを禁じます。

M O R E S C O

(登記社名:株式会社松村石油研究所) Matsumura Oil Research Corp.
神戸市中央区港島南町五丁目5番3号

設 立	1958年10月
代 表 者	中 野 正 徳
従業員数	198人(2005年2月末日現在)
資 本 金	744,403,200円
事業内容	特殊潤滑油、素材、ホットメルト接着剤などの 化学品の開発・製造・販売
施 設	本社・研究センター(神戸市中央区) 千 葉 工 場 (千葉県市原市) 赤 穂 工 場 (兵庫県赤穂市) 大阪支店・東京支店、名古屋・小山営業所
売 上 高	8,697百万円(2005年2月期)
経常利益	556百万円

連結対象子会社

株式会社 マツケン

事業内容

- ・当社製品の国内販売
- ・水処理装置、薬剤の販売レンタル
- ・洗浄機、洗浄剤の販売

売上高 1,557百万円(2005年2月期)

経常利益 56百万円

MORESCO(Thailand) Co.Ltd.

事業内容

- ・特殊潤滑油を製造、タイ王国内や近隣諸国に販売
- ・日本国内同業他社品のOEM生産

売上高 648百万円(2004年12月期)

経常利益 73百万円

株式会社モレスコテクノ

事業内容

- ・潤滑油管理試験
- ・環境計量証明試験
- ・潤滑油管理関連機器の製造・販売

売上高 160百万円(2005年2月期)

経常利益 14百万円

無錫徳松科技有限公司

(持分法適用関連会社)

2002年6月、中国江蘇省無錫市に建設

事業内容

- ・ホットメルト接着剤は、中国市場への供給と日本国内向けに生産、特殊潤滑油は日系自動車、弱電メーカー向けに供給

売上高 473百万円(2004年12月期)

経常利益 12百万円

事業内容

化学 品 事 業	特殊潤滑油部門
	合成潤滑油部門
	素材部門
	ホットメルト接着剤部門
賃貸ビル 事業	モレスコ本町ビル(大阪市中央区備後町)
そ の 他 事 業	排水処理装置・処理剤等の販売 (主に株式会社マツケン)
	分析試験 (株式会社モレスコテクノ)

化学品事業部門

特殊潤滑油部門

主に自動車、鉄鋼産業、工作機械向けの潤滑油

- 高真空ポンプ油 (国内シェアNo. 1)
- 難燃性作動液 (国内シェアNo. 1)
- 切削油剤
- ダイカスト用潤滑剤

合成潤滑油部門

自動車用電装品向けグリース原料、ハードディスク表面潤滑剤

- 高温用潤滑油(グリース用途:オンリーワン)
- ハードディスク表面潤滑剤
- 耐放射線性潤滑剤
- 高温用グリース

素材部門

化粧品原料、ポリスチレン樹脂の改質剤及び、金属加工油等の添加剤

- 流動パラフィン (国内シェアNo. 1)
- 石油スルホネート(国内シェアNo. 1)
- 精製流動パラフィン
- 合成スルホネート

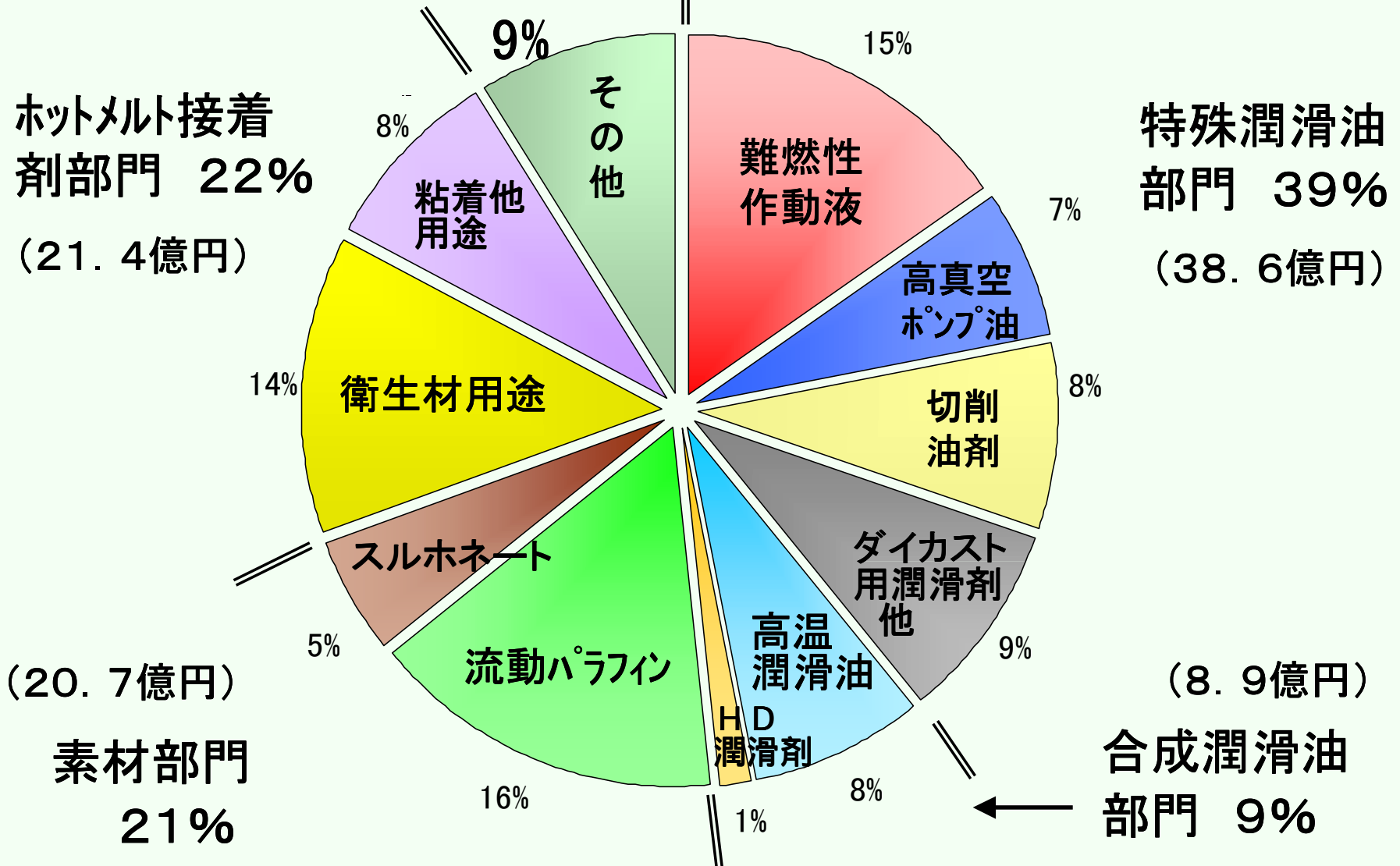
ホットメルト接着剤部門

大人用紙おむつ等の衛生材、高機能ラベル、建材などの接着剤

- ホットメルト型接着剤

化学品事業の売上高構成(平成17年2月期)

(連結売上高98.3億円)



決算説明

決算概要 連結損益計算書

単位:百万円

	04/2期	05/2期	前期比
売上高	8,805	9,893	12.4%
売上総利益	3,233	3,647	12.8%
販管費	2,762	2,912	5.4%
営業利益	471	735	55.9%
営業外損益	△76	△33	—
経常利益	395	702	77.8%
税引前利益	402	702	74.6%
当期純利益	234	433	84.8%

売上高の内訳

単位：百万円

	04/2期	05/2期	前期比
特殊潤滑油部門	3,366	3,855	14.5%
合成潤滑油部門	746	886	18.8%
素材部門	2,102	2,074	△1.4%
ホットメルト接着剤部門	1,873	2,143	14.4%
その他	654	873	33.4%
化学品事業計	8,742	9,830	12.4%
ビル事業	63	63	—
売上高合計	8,805	9,893	12.4%

売上高増減の主要因

特殊潤滑油部門 (前期比15%増)	国内向けは自動車および部品産業の好調を受け、作動油をはじめ総じて売上が増加。さらに前年に引き続き、タイ王国での大幅な売上増が寄与。収益面でも寄与。
合成潤滑油部門 (前期比19%増)	グリース基油となる高温用潤滑油の売上19%増、ハードディスク表面潤滑剤は売上92%増。収益面での寄与も大。
素材部門 (前期比1%減)	流動パラフィンはポリスチレンメーカーの輸出減により減少。スルホールは国内金属加工油メーカー向け好調もほぼ横這い。
ホットメルト接着剤部門 (前期比14%増)	大人用紙おむつの需要増に伴い売上が増加。収益面でもパッケージレス品が寄与。また新規開発製品も売上増に寄与。
その他 (前期比33%増)	中国の現地法人向けの材料輸出増が寄与。子会社(マツケン、モレスコテクノ)の売上増。

新製品売上高

単位：百万円

	04/2期	05/2期	前期比
新製品売上高	1,003	1,147	114.4%
新製品売上高寄与度	11.4%	11.6%	

売上総利益増減の要因

単位：百万円

売上数量増加による利益増	352
販売単価増(売上構成の変化)	171
材料値上りによる影響額(ネット)	△54
材料費低減	19
製造固定費増	△77
化学品事業計	411
ビル事業総利益増	3
合計	414

生産部門での生産性向上

	単位	03年度	04年度	増減	効果額
生産量	KL, T	35,478	36,812		
人・時間	時間	158,240	152,911		
生産性	生産量／ 人・時間	0.224	0.241	0.17	50百万円

販売費・一般管理費

単位：百万円

	04/2期	05/2期	増減	前期比
販売費・一般管理費	2,762	2,912	150	5.4%
うち、研究開発費	555	612	57	10.3%

売上高研究開発比率	6.3%	6.2%
-----------	------	------

(単体)	(7.0%)	(7.0%)
------	--------	--------

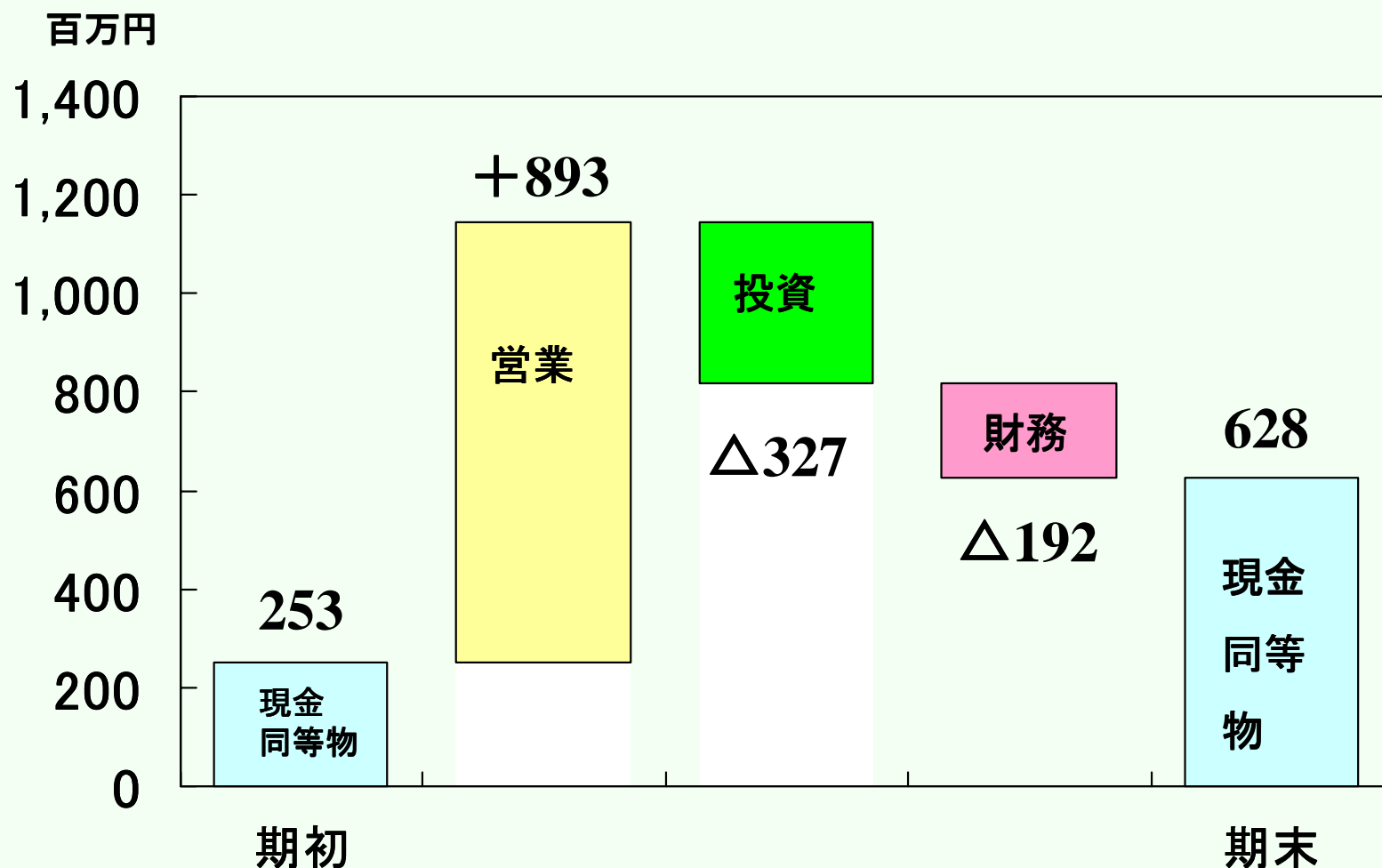
決算概要 連結貸借対照表

単位:百万円

科目	05/2期	増減	科目	05/2期	増減
現預金	628	374	仕入債務	1,733	347
売上債権	2,484	271	有利子負債	2,074	△868
棚卸資産	1,014	42	その他流動負債	941	194
その他	163	13	その他固定負債	1,349	65
流動資産計	4,288	701	負債合計	6,097	△263
有形固定資産	4,163	88	少数株主持分	47	14
無形固定資産	23	△7	資本金・資本剰余金	1,277	736
投資その他	674	86	利益剰余金等	1,726	380
固定資産計	4,860	167	資本合計	3,003	1,117
資産計	9,147	868	負債・資本計	9,147	868

(注)増減は04/2期、期末休日調整後の残高をもとに計算

キャッシュフロー計算書



(注) 金額は04/2期、期末休日調整後の残高をもとに計算

営業活動によるキャッシュフロー

単位：百万円

項目	04/2期	回 転 期 間	05/2期	回 転 期 間
税引前当期利益	402		702	
減価償却費	340		330	
(小計)	(742)		(1,032)	
売上債権の増減	△241	2.8	△273	2.8
仕入債務の増減	6	1.9	289	1.9
棚卸資産の増減	△95	1.3	△43	1.2
その他	10		120	
法人税等の支払	△207		△232	
営業活動によるキャッシュフロー	215		893	

(注)金額は04/2期、期末休日調整後の残高をもとに計算

固定資産・減価償却費

単位:百万円

	04年期初	04年期末	増減
有形無形固定資産計	4,105	4,186	81

設備投資額 (合計)	439
松村石油研究所	408
(うち、研究開発投資額)	(151)
モレスコタイラント [®] 他	31

	04/2期	05/2期	増減
減価償却費	340	330	△10

有利子負債

単位：百万円

	04年期初	04年期末	増減
短期借入金	1,798	1,814	16
長期借入金	844	260	△584
社債	300	0	△300
合計	2,943	2,074	△868

決算概要 経営指標

	04/2期	05/2期
1株当たり		
当期純利益	364.33円	630.09円
株主資本	2,887.58円	4,144.79円
ROE	13.8%	17.7%
ROA	4.9%	8.0%
売上高経常利益率	4.5%	7.1%

(参考)期末株主数	399名	1,019名
-----------	------	--------

当期の配当について

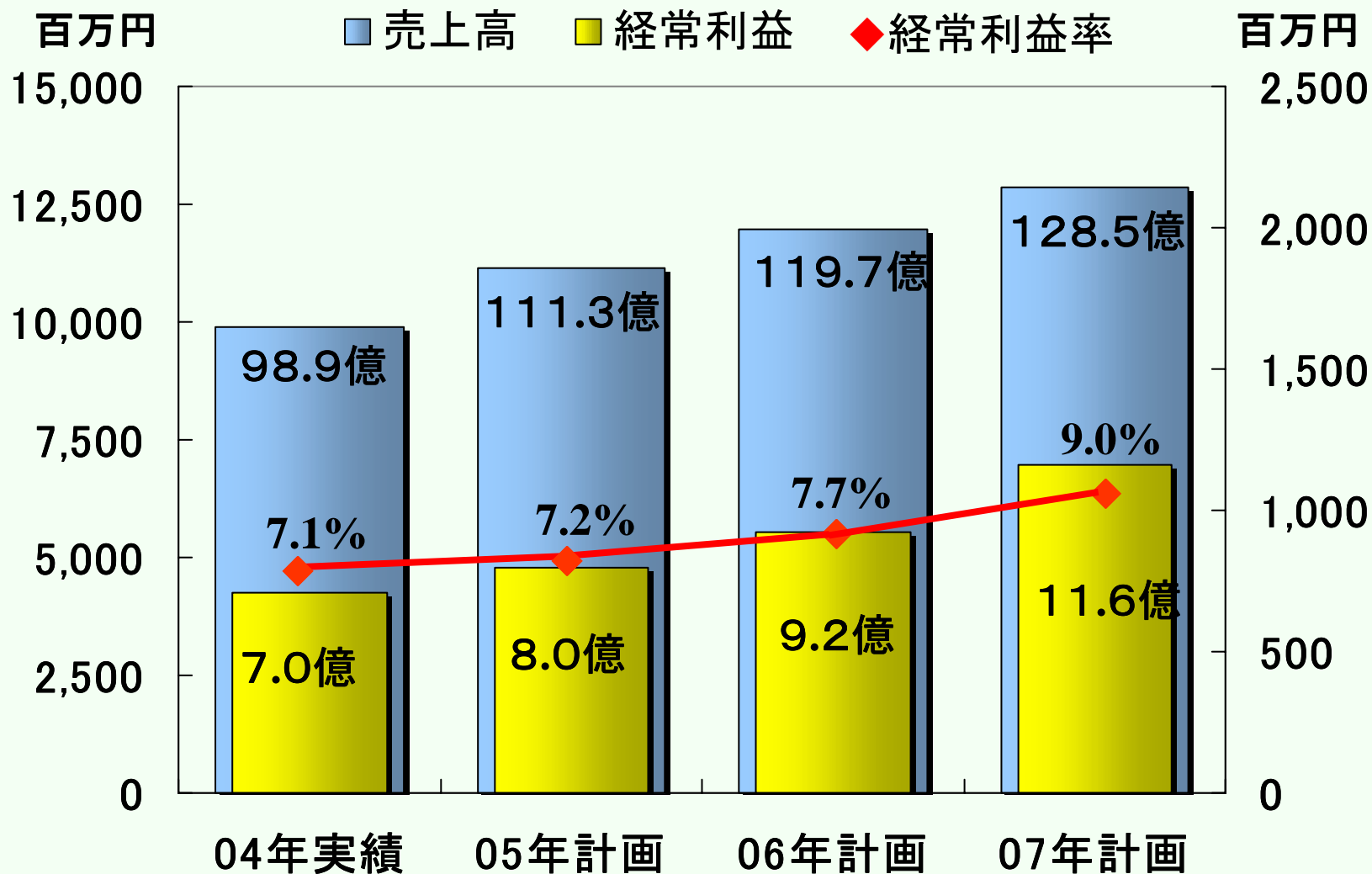
	04/2期	05/2期
連結当期純利益	234百万円	433百万円
配当額	49百万円	87百万円
一株当り配当金 (普通配当) (特別配当)	75円 (60円) (15円)	120円
配当性向	20.8%	20.0%

中期計画の概要

(06年2月期～08年2月期)

連結売上高・経常利益

予想数値は要注意事項ですので、
取扱いには十分ご注意下さい。



連結損益計算書

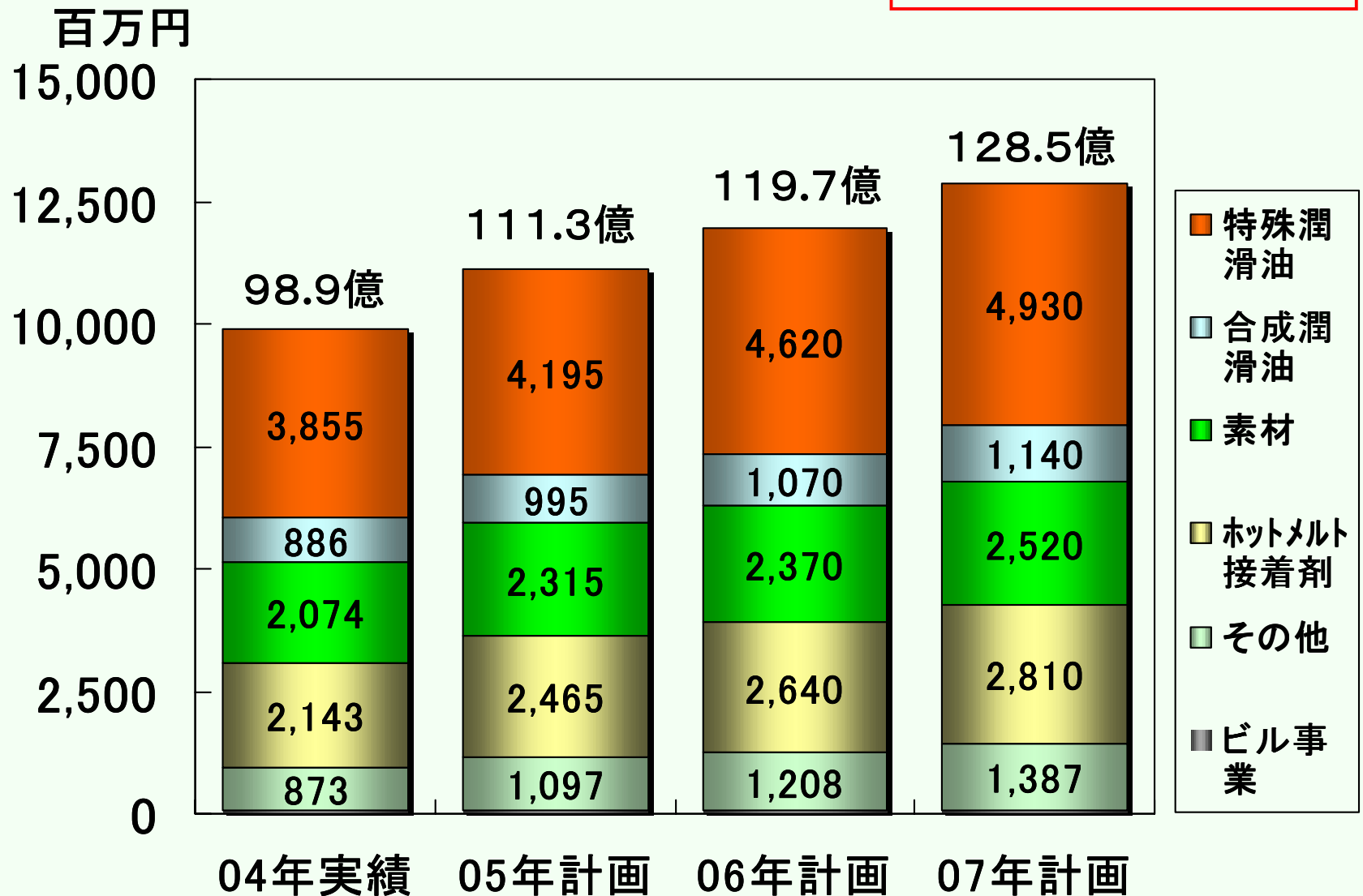
単位:百万円

	05/2期	06/2期	07/2期	08/2期
売上高	9,893	11,130	11,970	12,850
売上総利益	3,647	3,970	4,240	4,580
販管費	2,913	3,170	3,330	3,440
営業利益	735	800	910	1,140
営業外損益	△33	0	10	20
経常利益	702	800	920	1,160
税引前利益	702	800	920	920
当期純利益	433	490	570	720

予想数値は要注意事項ですので、取扱いには十分ご注意ください。

売上高の内訳

予想数値は要注意事項ですので、
取扱いには十分ご注意ください。



今期(06/2期)計画概要

今期(06/2期)の業績予想

単位:百万円

	05/2期	06/2期 予想	前期比
売上高	9,893	11,130	12.5%
化学品事業	9,830	11,067	12.6%
賃貸ビル事業	63	63	—
営業利益	735	800	8.8%
経常利益	702	800	14.0%
当期純利益	433	490	13.2%
純資産	3,003	3,390	12.9%

予想数値は要注意事項ですので、取扱いには十分ご注意ください。

売上高予想

単位：百万円

	05/2期	06/2期 予想	前期比
特殊潤滑油部門	3,855	4,195	8.8%
合成潤滑油部門	886	995	12.3%
素材部門	2,074	2,315	11.6%
ホットメルト接着剤部門	2,143	2,465	15.0%
その他	873	1,097	25.7%
合計	9,830	11,067	12.6%
ビル事業	63	63	—
合計	9,893	11,130	12.5%

予想数値は要注意事項ですので、取扱いには十分ご注意ください。

当期における戦略（特殊潤滑油部門）

- ◆総じて国内向け自動車産業、同部品産業の動きに左右されるが、8.8%増を計画。
- ◆タイでの現地法人の売上は前期比14%増と引き続き寄与。

- トップシェアを生かし、難燃性作動液はさらにシェアアップを図る。
- 新製品による売上増を図る
 - 合成系水溶性切削油剤
透明性が持続、ロングライフと工場美化。
 - アルミ用ダイカスト離型剤
少量で高性能を発揮、コストダウンと環境対策。
 - マグネシウム用ダイカスト離型剤
中国・台湾市場で好評価、輸出中心に伸長。
- 自動車・鉄鋼向け価格はフォーミュラーにより材料値上を転嫁、その他は積み残し圧縮に営業努力。

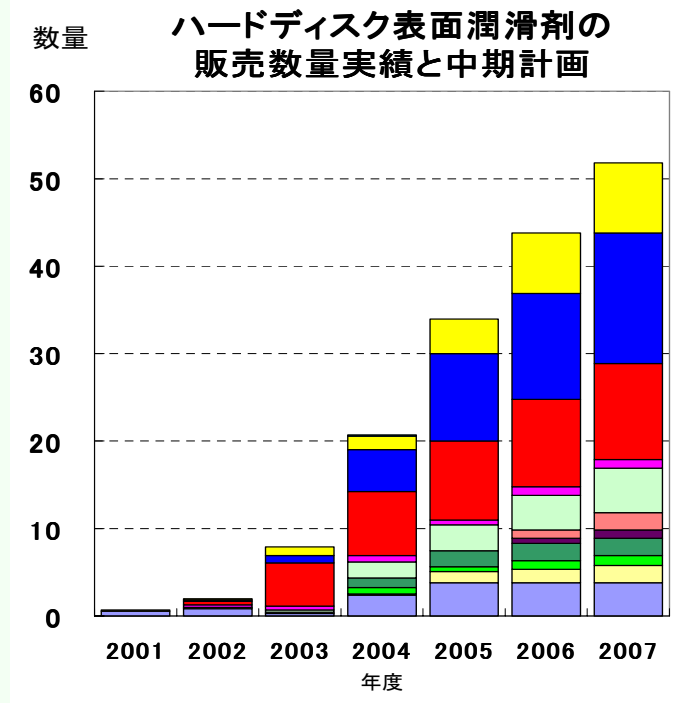


当期における戦略(合成潤滑油部門)

- ◆ グリース基油となる合成潤滑油は前年比7%増を計画。
- ◆ ハードディスク表面潤滑剤は前期比153%増を計画、収益面の寄与大。



- 自動車向けグリース用途に加えて、鉄道車両・家電用途に展開。
- ハードディスク用潤滑剤
 - 3.5インチ向けは世界の顧客のほぼすべての新機種に採用、2.5インチの小型ディスク向けにも一部で採用。
 - 小型ディスク向けの新製品は、ユーザーと共同で評価テスト推進。



予想数値は注意事項ですので、取扱いには十分ご注意下さい。

当期における戦略(素材部門)

- ◆流動パラフィン是国内売上を中心に13%増を計画。
- ◆スルホネートは6%増を計画。

▶流動パラフィンの売上増

- エクソンモービルが流動パラフィンの国内生産を完全に中止、(全量フランスから輸入)当社シェアアップを狙う。

▶スルホネートの売上増

- シェル生産中止で天然品の供給タイトな北米向け輸出を伸ばす。
- 添加剤等の新製品は、来期売上に寄与。

▶原材料価格の二次値上分は、 ほぼ 価格転嫁の見通し。



当期における戦略(ホットメルト接着剤部門)

- ◆衛生材製品向けは前期比9%増を計画。
- ◆高機能粘着剤向けの売上は前期比150%増を計画。

▶大人用紙おむつ向けの売上増

- 大手顧客の海外展開による米国向け輸出数量増

▶高付加価値新製品による売上増

- ICタグなどの高機能ラベル向け粘着剤
- 建材向け接着剤
- 自動車内装材向け接着剤

▶特に紙おむつ向けでのシェア競争は熾烈であるが、材料値上げの転嫁を推進すると共に、数量増でもカバーする。

▶中国の生産拠点と連携し、国内の生産効率UPにより収益改善。



設備投資計画

単位:百万円

設備投資内容	金額
研究開発設備・機器	153
設備の保全・更新	135
設備増設	48
設備の合理化・省力化	42
その他	179
合計	557

減価償却費	443
-------	-----

研究開発費

単位:百万円

	04/2期	05/2期	06/2期	前期比
研究開発費	555	612	722	118.0%

売上高研究開発比率	6.3%	6.2%	6.5%
-----------	------	------	------

(単体)	(7.0%)	(7.0%)	(7.3%)
------	--------	--------	--------

予想数値は要注意事項ですので、取扱いには十分ご注意ください。

主な研究開発

ハードディスク表面潤滑剤

ナノメートルオーダーの超薄膜
潤滑剤

- ▶ 次世代のテラビット級ディスク向けの潤滑剤の開発に着手。
- ▶ 2.5インチ以下の小型ディスク用の新潤滑剤を開発中。

新合成潤滑油

高低温特性を更にワイドレンジ化

- ▶ 使用温度領域の拡大により新用途を開拓。大手顧客での評価を開始。

高機能潤滑油添加剤

環境に優しい潤滑油添加剤

- ▶ 透明にまで分散させた無機の微粒子が、優れた潤滑性を発揮。環境対応型

CMPスラリー

研磨材フリーのスラリー

- ▶ 銅配線半導体の製造プロセスで使用。
- ▶ 海外研究機関(IME)との共同研究が終了、デバイスメーカーでの評価を開始。

光触媒・促進酸化による 水浄化装置

廃棄物ゼロを目指した水処理装置

- ▶ 光触媒による殺菌装置を鉢花や野菜などのハウス栽培向けに試売を開始。
- ▶ 紫外線・オゾン・酸化剤を組合せ、工場排水をCO₂と水に分解。実地評価進行中。

当面の課題

原油・ナフサの動向

原料価格の高値水準が想定され、さらなる原材料価格上昇による、収益への影響が懸念される

<対 策>

①製品価格へ転嫁

- ・鉄鋼・自動車向けはフォーミュラーにより、ほぼ自動的に値上
- ・その他顧客については、値上を実施
- ・一部の製品については、市場動向から大半は価格転嫁が困難な状況

②合理化コストダウン

- ・生産合理化をはじめとする、コストダウン諸策の推進

③高付加価値製品の開発スピードアップ

今期(06/2期)の業績予想

経営指標

予想数値は要注意事項ですので、
取扱いには十分ご注意下さい。

	05/2期	06/2期予想
1株当たり		
当期純利益	126.02円	132.03円
株主資本	828.96円	939.99円
ROE	17.7%	15.3%
売上高経常利益率	7.1%	7.2%

(注)05/2期の1株当たり数値は株式分割後の
値に換算しております

M O R E S C O

(登記社名:株式会社松村石油研究所)



JASDAQ 5018

<http://www.moresco.co.jp/>

IR窓口 078-303-9058(広報室)